

令和元年度 社会福祉法人 誠心会（誠心寮）事業報告

《総括》

社会福祉法人誠心会は法人理念「平等大悲」のもと「ともに生き合い育ち合う関係づくり」をめざし誠心寮の運営を主な事業として行いました。

令和元年度は定員 50 名での運営であり、平均入所児童数は 38.7 名という状況でありました。入退寮児童の状況は、入寮児童 5 名、退寮児童 13 名でありました。退寮児童 13 名については、高校を卒業して就職・進学した児童が 3 名、中学校を卒業して就職した児童が 2 名、高校中退で就職した児童が 1 名、家庭復帰での退寮が 7 名でした。また次年度は暫定定員 49 名での運営となる予定です。

さて、令和元年度は大きく 4 つの項目について重点的に取り組みました。

1. 施設の事業展開

これまで数年間に亘り地域への施設展開をめざしてきましたが適当な物件がなく、実施することが出来ませんでした。しかしながら令和元年に入り施設付近（瑞穂市本門町内）に適当な物件が見つかったため、大門町内会役員の方々に分園型小規模やこれからの児童養護施設の形態について説明をさせていただき、令和元年 10 月にその物件を購入しました。そして令和 2 年 1 月に大門町内会の総会にて町内の皆様にご説明させていただいたところ快くご承諾いただけました。その後、建物の修繕や備品等の購入をし、令和 2 年 4 月 1 日より分園型小規模施設「うららかホーム」として運営を開始しました。町内活動等、地域の実情に合わせて出来る限りの協力をして、地域に受け入れられ、根付くよう配慮していきます。

里親委託については、里親支援専門相談員を中心として県内の里親支援機関等と協力して活動してまいりました。当施設入所児童で実際に委託できたケースはありませんでしたが、岐阜県内の里親支援に関する事業（里親訪問相談、里親サロン、里親研修等への協力）へは、積極的に参加・出席をしました。令和 2 年度からは岐阜県のフォスタリング事業が開始されるため、主に岐阜地域での里親支援活動に積極的に協力していきます。

ショートステイ事業については 1 件（延べ日数 15 日）、一時保護受託については 16 件（延べ日数 786 日）の実績であり、次年度も地域の要望や子どもの安全のために、受け入れ可能な範囲で次年度も応えていきます。なお、一時保護日数の多さについては、28 条ケースでの一時保護期間の長期化が主な要因であります。

地域における公益的な活動については、ふれあい広場（子ども広場の運営）、アフターケア（卒寮後 6 年以上経過した者）、施設周辺の清掃活動等、自施設で行える出来る限りの活動をしました。

2. 子どもの支援

子どもの状況全般としては、中学 3 年生の 2 人と特別支援学校高等部 2 年の 1 人（3 人ともに男子）を中心に問題行動が頻繁に起こり、他の児童も巻き込み学童男子及び小規模 GC にじいろホームが不安定な状態がありました。職員も出来る限りの支援をし話しましたが、将来への不安等からくる自暴自棄的な言動が収まることはありませんでした。支援方法や施設内・外との連携の更なる充実、そして子どもとの関係性構築の重要性を再認識した年度でありました。

その他、対応が難しい子どもや、アレルギーや発達障害を持った子ども、また上記のような不登校や喫煙、窃盗、深夜徘徊等を繰り返し指導が入らない子ども、家庭支援や調整の必要性が高い子ども・保護者等に対しては、直接支援をしている指導員・保育士を中心として、各専門職（家庭支援専門相談員、心理療法職員、個別対応職員、栄養士）と連携

し取り組んできました。入所カンファレンス、ケース会議、担当者会議で共有した支援方法を、個人、チーム、施設として実践しておりますが、関係機関と協力・連携し子どもへの支援がより充実するよう継続していきたくと考えております。

子ども自治会においては、子どもの権利ノートとグランドルールを周知し、子ども自治会での話し合いがさらに充実し、施設での生活がより良くなるよう取り組みました。行事やふれあい広場のことを話すことが中心とはなりましたが、生活のことも話し合えるようになってきております。問題行動はありますが、取り組みを継続し、子ども達が施設生活の中で安心、安全を実感できるようにしていきたいと考えております。

子どもの権利擁護として、法人内の豊かな生活をめざす委員会において意見箱を設置しておりますが、当年度の投函数は10件でありました。第三者委員より施設長に対し、全て施設内で解決可能な意見（職員への要望5件、食事に対する要望2件、環境設備面の要望2件、不明1件）であるため解決していただきたいとのことであったので施設内にて話し合いや職員の取り組みで解決しております。

学力向上においては、依然として学習意欲また学力が低い子どもが多い状態があり、また特別支援学級に通う子どもや発達障害を抱えているであろう子どもが増えている現状もあるため、学習ボランティアや塾等を積極的に利用しながらも、個々にあった指導をお願いし、学習に対して前向きになれるような取り組みをしてきました。目に見えての効果は難しい面もありますが、今後も継続していきます。

また、当年度も、各チーム（男子、女子、幼児、にじいろ）において、子ども達に社会体験をしてもらうための行事を多く計画し実施しました。社会性が身に付き、視野が広がり、コミュニケーション力の向上も見られています。これからも子ども達の可能性が広がるよう実施していきます。

さらに、自立支援、アフターケアの充実（卒寮後5年間の支援）については、FSWを中心に支援しました。進学・就職に際しての知識や理解が不足しているためスムーズな自立が出来る子どもは少なく、出来る限り見守り支援していく必要性を感じました。

上記の取り組みについては、施設だけでなく子ども相談センターや学校、地域にある子どもや家庭を支える機関等を始めとした関係機関の方々と連携を取ってこそ出来ていることであり深く感謝申し上げます。

3. 職員の確保と育成

人材確保については、ホームページの活用や就職フェア等への参加、実習生やボランティアの積極的な受け入れ等を中心に取り組み、当施設の魅力を発信し、人材確保に努めた結果、採用予定数の応募があり職員を採用することが出来ました。これからも、人材確保のため積極的な取り組みを継続していきます。

子どもの支援のあり方や姿勢、チームワーク等については、研修体制をとり、子どもへの支援中心の勤務体制の中、OJTを含め、学習会や研修会に参加する機会は持つことが出来、資質向上につながりました。特に研修等による職員の資質向上においては、職員が必要としている研修に対して出来る限り参加できるようにして、これから来る小規模化、地域分散化に向けてのスキルアップを図ることが出来ました。ただ、年度末においては新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり研修等が中止となったため、職員の参加を予定していた全ての研修に参加出来なかったことは残念でありました。

また働き方改革や職員の負荷を考慮し、有給休暇取得の奨励や福利厚生にも重点をおき取り組みました。結果として子どもを直接支援する職員や専門職、調理員においては取得可能な有給休暇の日数の多くを消化することが出来ました。

4. 子どもたちの生活環境及び職員の職場環境の整備等

令和元年度、本体施設においては、大きな修繕等は行いませんでした。ただ、職員数が

増えたことによる新規駐車場再整備については予定通り実施し終了しました。

また、令和2年度より開設する分園型小規模施設「うららかホーム」の修繕や備品等の購入を実施しました。

衛生管理、健康管理については、例年通り健康診断や予防接種等を実施し、大きな病気や感染症の蔓延等もなく過ごすことが出来ました。新型コロナウイルス感染症への対策については国、岐阜県の対策マニュアル等を模範として施設内にて出来る限りの環境整備及び行動での対策をしております。

次年度も子ども達のより良い生活環境及び安全管理のための整備を進めていきます。

上記のように令和元年度事業については概ね無事に終了することが出来ましたが、地域分散化するための地域への啓発や理解を深める活動については、まだ不足していると感じております。これからも地域の方々や関係機関の方々のご理解とご協力を得て事業を推進していきますのでよろしくご厚意申し上げます。

《事業向上対策事業》

1. 会務の開催

① 監事会の開催

- (1) 令和元年5月31日（金）午後3時00分より 誠心寮事務室
・平成30年度社会福祉法人誠心会事業報告及び運営管理及び予算執行状況の監査

② 評議員会の開催

- (1) 令和元年6月23日（日）午前9時30分より 誠心寮心理療法棟遊戯療法室
◎評議員定数9～16名（現員11名）の内9名出席 監事1名出席

◎協議事項

- ・平成30年度社会福祉法人誠心会事業報告について
- ・平成30年度社会福祉法人誠心会収支決算及び監査報告について
- ・令和元年度社会福祉法人誠心会第1次補正予算について
- ・社会福祉法人誠心会役員候補者の選任について
- ・社会福祉法人誠心会諸手当基準表の改正について

- (2) 令和元年12月22日（日）午後3時より 誠心寮心理療法棟遊戯療法室
◎評議員定数9～16名（現員11名）の内8名出席 監事1名出席

◎協議事項

- ・令和元年度社会福祉法人誠心会第2次補正予算について

- (3) 令和2年3月22日（日）午後2時より 誠心寮心理療法棟遊戯療法室
◎評議員定数9～16名（現員12名）の内8名出席 監事1名

◎協議事項

- ・令和元年度社会福祉法人誠心会第3次補正予算について
- ・社会福祉法人定款の変更について
- ・令和2年度社会福祉法人誠心会事業計画及び施設運営体制について
- ・令和2年度社会福祉法人誠心会収支予算について
- ・令和元年度施設指導監査結果及びその措置について
- ・令和元年度法人指導監査結果及びその措置について
- ・社会福祉法人誠心会評議員選任・解任委員会運営規程細則の改正について

③理事会の開催

(1)令和元年6月2日(日)午後3時より 誠心寮心理療法棟遊戯療法室

◎理事定数6~8名(現員7名)全員出席 監事1名出席

◎協議事項

- ・平成30年度社会福祉法人誠心会事業報告について
- ・平成30年度社会福祉法人誠心会収支決算及び監査報告について
- ・令和元年度社会福祉法人誠心会第1次補正予算について
- ・社会福祉法人誠心会評議員候補者の選任について
- ・社会福祉法人誠心会諸手当基準表の改正について
- ・社会福祉法人誠心会評議員会の開催について

(2)令和元年6月23日(日)午前11時30分より 誠心寮心理療法棟遊戯療法室

◎理事定数6名以上8名以内(現員7名)全員出席 監事1名出席

◎協議事項

- ・社会福祉法人誠心会理事長の選任について

(3)令和元年12月7日(土)午前10時より 誠心寮心理療法棟遊戯療法室

◎理事定数6~8名(現員7名) 6名出席 監事1名出席

◎協議事項

- ・令和元年度社会福祉法人誠心会第2次補正予算について
- ・社会福祉法人誠心会評議員候補者の選任について
- ・評議員会の開催について

(4)令和2年3月7日(土)午後2時より 誠心寮心理療法棟遊戯療法室

◎理事定数6~8名(現員7名) 全員出席 監事1名出席

◎協議事項

- ・令和元年度社会福祉法人誠心会第3次補正予算について
- ・社会福祉法人誠心会定款の変更について
- ・令和2年度社会福祉法人誠心会事業計画及び施設運営体制について
- ・令和2年度社会福祉法人誠心会収支予算について
- ・令和元年度施設指導監査結果及びその措置について
- ・令和元年度法人指導監査結果及びその措置について
- ・社会福祉法人誠心会評議員選任・解任委員会運営規程細則について
- ・評議員会の開催について

③評議員選任・解任委員会の開催

(1)令和元年6月14日(金)午後6時30分より 誠心寮事務室

◎評議員選任・解任委員定数 3名 全員出席

◎協議事項

- ・社会福祉法人誠心会評議員の選任について

(2)令和元年12月7日(月)午前11時30分より 誠心寮事務室

◎評議員選任・解任委員定数 3名 2名出席

◎協議事項

- ・社会福祉法人誠心会評議員の選任について

2. 市児童福祉関係課及び市社会福祉協議会との密なる連携による市福祉向上並びに県福祉関係機関との連携による福祉向上の推進

- ・要保護児童対策推進協議会委員、瑞穂市いじめ対策連絡協議会に参加し、地域福祉の充実の為の活動。
- ・ショートステイによる地域福祉への貢献（瑞穂市、本巣郡北方町、本巣市、大垣市と契約）。
- ・県児童福祉協議会（事務局）及び県社会福祉協議会（福祉人材センター）への参加により、側面からの支援活動をし、地域並びに市、県、全体の社会福祉、特に児童福祉の面での事業充実の為の活動。
- ・本田第1保育所、本田小学校、穂積北中学校との連携活動としては、本田第1保育所の行事への参加、小学校と中学校はそれぞれ誠心寮の子どもの状況等を共通理解するための懇談会の開催。また、第39回ふれあい広場への参画(チラシ配布やバザー品の提供、実行委員会)に協力いただいている。
- ・穂積北中学校区学校運営協議会に施設長が委員として参加。

3. 広報活動の充実強化

- ・誠心会が発行する毎年の「えにし」を会員を含め約800部配布し、年度の事業計画、予算、事業報告、決算等について報告している。
- ・ホームページにおいても、年度の事業計画、予算、事業報告、決算等について掲載しているほか、職員の募集、実習やボランティアの受け入れなどについても掲載し、広く広報している。また、「おかげさま」のコーナーでは、寄付や寄贈の紹介をしている。
- ・第39回ふれあい広場での啓発活動
- ・オレンジリボンたすきリレーでの啓発活動
- ・福祉の仕事オール岐阜就職フェアへの参加（人材確保と啓発）
- ・中部児童養護施設協議会「子どものお仕事説明会 in 中部」への参加（人材確保と啓発）